

コミュニティバス路線等の変更について

1 経緯

直方市では、利用者の目的地へのアクセス向上や全体の利用者増加を図り、直方市都市・地域総合交通戦略及び直方市地域公共交通計画に位置付ける戦略目標『拠点と地域を効果的に結ぶ、日常を支える生活交通の確保・維持』を達成するため、全路線が直方駅から放射状に広がる路線から、乗換拠点を結ぶ環状線と支線で形成する乗換拠点型の路線への転換に向けて取り組んでいる。

また、こうしたなかでも路線バスの廃止に対応策を講じる必要があることや、地域住民及び利用者の要望に対し実現可能な内容から改善を図り、上記路線再編後を見据えた路線のあり方やコミュニティバスを利用しやすい環境を整えるための路線変更等について検討する。

2 主な項目

○鴨生田団地線と赤地新入線の統合

輸送資源確保のため、路線の大部分で重複している 2 路線について、同時間帯・同方向の便の利用者数を集計し、利用状況を検証した結果、統合が可能であると判断。

⇒乗車人数 9 人以下の便：9 6. 7 % (2 路線合計)

⇒1 便あたり乗車人数 (加重平均)：3. 8 人 (2 路線合計)

○永満寺線の運行改善

運行時間帯／便数：9：00～16：25（9 便） → 8：00～17：34（12 便）

車両規模（最大乗車人数）：4 名 → 9 名

○路線再編後を見据えた利用改善

農産物直売所や買い物施設、ＪＲや高速バス等の他交通モードとの接続点にバス停を追加

【上頓野線】アグリー福智の郷、もち吉工場直売所

【植木線】新入駅、直方 PA、なのはな畑

【感田線】直方がんだびっくり市

○路線名の変更

路線名を運行の実態に即した名称に変更

旧名称	新名称
鴨生田団地線	新入線
武谷線	中泉線

3 路線変更内容

別紙のとおり（資料 4 - 2）